



きなうにそこ変時続する日  
たを、敏うとわにけつも突  
い研々感しもつて少の然のす  
のもぎでた起て真いしはガ評  
す。の澄分明のこい逆、得な評付  
です。せアれのまん価い化少変あ  
おテよし。てにたししわる

思し評へおうすそは  
世いた価のいこるれなこはるる議分じ  
間まとす配てと状を、くれな人こののまなごと  
するいる慮、はで況肯ははいのと場自。な  
う状にそり定こ況欠れ、つ的のとには現たに社会し  
かなる家在と評会のいを提事のいう邪こ  
と化と庭にい価はで。の感供の中との魔の

がもすが振に員が  
た見にでいもか  
「編報集室後記」  
浅野より  
か版ら。各記年  
に、が一端編  
きを集ま垣後となか  
し間記が違らの太

んし生応様 なれえウもに〇 い用ので今來造す個は私  
ねたきで化今いてるイし。Mキまい商いまた改が人何たそでなく態大現れなジブ形一そ  
の残きに後でい手か  
かるる臨量する助スし  
も時企機より  
れがだ変質  
ま到けにで  
せ来が対多

態特と多事拡  
ら様ワ丨たへ  
りは内ツる  
。時広つ年本  
代は繰り返  
され  
に青日五  
月会経済会  
とこれから  
の在りか  
たの

りは内ツる  
。時広つ年本  
代は繰り返  
され  
に青日五  
月会経済会  
とこれから  
の在りか  
たの

